



地産地消の 下戸山マルシェ

4月24日（下戸山地域）

「第3回はなもも市」が開催されました。今回から、各ブースには下戸山産・栗東産の農産物であることを示す札がかけられ、何に地元産の食材が使われているかを分かりやすく表示。顔の見える生産者から直接買うことのできるマルシェは大好評に終わりました※。



4月10日（下戸山地域）

4月中旬に、下戸山地域の「はなももロード」にある15本のハナモモが満開になりました。この時期に合わせ、ロード沿いのハーブガーデンカフェで、クロマチック・ハーモニカの野外コンサートが開催。美しい音色がロード一帯に響き渡りました※。

ハナモモ満開のコンサート



5月6日（市役所）

安養寺東子ども会の皆さんが熊本地震災害義援金を市に届けてくれました。みんなで相談して自主的に募金箱を手作りし、5月3日の祭りで、みこしをかつぎながら集めてくれた子どもたち。貴重な義援金は、日本赤十字社を通じて、被災地に届けます。

子どもたちによる義援金



5月15日（京都競馬場）

栗東の名前を冠したレース「栗東ステークス」に合わせ、本市をPRする物産展が行われました。本市の特産品を揃えた物産展は来場者に好評。マスコットキャラクター「くりちゃん」も、栗東の魅力を発信するため、頑張りました。

くりちゃんも栗東ステークスで市をPR



5月16日～28日（第二栗東なかよし作業所）

「なかよし生活展」が開催され、利用者の陶芸や刺し子など約300点が展示されました。「作品を身近なものとして楽しんでほしいと企画しています。障がいがある人たちの素晴らしい力を多くの人に伝えることができれば」と支援専門員の池谷正晴さん。

個性あふれる作品を身近に

フォト ニュース



交通事故から守ってね

5月2日（市役所）

草津栗東交通安全協会治田西支部の主催により、毎年恒例となった交通安全教室「こどもの日作戦」が行われました。警察官の制服姿になった治田西幼稚園の5歳児が、来庁者に交通安全を啓発。「ぼくたち、わたしたちを交通事故から守ってください」と呼びかけながら、自分が描いたチラシとミニこいのぼりを手渡しました。



活気あふれる例大祭

5月4日（大宝神社）

ゴールデンウィークは、市内各地域で祭りが行われました。大宝神社の例大祭では、市民皆さんの力により、83年振りにサンヤレ踊りが復活。例大祭は、7年に一度の大渡しの年となり、女性による華やかな「さつきみこし」などに加え、巻・小平井・霊仙寺地域の宮座行列があり、例年以上に活気あふれる祭りとなりました※。

